

◆自然科学研究科 物理学専攻 博士前期課程 カリキュラムマップ

教育研究上の目的

物理学専攻は、自然現象を理解する上で不可欠となる論理的思考力、実験観察の技術及び方法論並びに演習を通じた問題解決力を身につけ、それらの経験を生かして一般社会においてもリーダーシップを発揮して活躍できる人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー

(知識・技能)

- 1 物理学分野の基礎的・発展的な知識と研究手法を身につけ、研究成果をあげることができる。
- 2 幅広い課題に対して物理学分野の専門家として立ち向かう知識と能力を有している。
- 3 研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる、物理学分野の高度な知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。
- 4 研究課題の明確性及び先行研究を踏まえての的確性、課題を追求する上での方法論の適切性、研究方法及び調査方法の妥当性、結論の妥当性、研究の独創性と研究分野への貢献の観点から総合的に判断して十分な水準の学位論文を作成することができる。

(思考・判断・表現)

- 5 グローバルな学術情報の収集に欠かせない英語能力を有し、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとり、国際的な視野に立って自ら考え、発信することができる。
- 6 未知の問題に対して基本に立ち返って解決方法を見出すことができる知識と論理的思考力を有しており、社会の様々な問題を解決し、社会に貢献することができる。

(関心・意欲・態度)

- 7 自らの学びに責任を持ち、問題発見力と解決力をもって、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。

分野系列	科目名	単位	知識・技能				思考・判断・表現		関心・意欲・態度
			1	2	3	4	5	6	7
【必修科目】	修士論文	0	○	○	○	◎	◎	○	◎
	物理学輪講Ⅰ	4	○	○	◎	○	◎	○	◎
	物理学研究Ⅰ	10	○	○	◎	○	○	◎	◎
[自専攻設置科目]	化学物理学Ⅰ	2	○	○	◎			◎	◎
	化学物理学Ⅱ	2	○	○	◎			◎	◎
	化学物理学Ⅲ	2	○	○	◎			◎	◎
	化学物理学Ⅳ	2	○	○	◎			◎	◎
	物性物理学Ⅰ	2	○	○	◎			◎	◎
	物性物理学Ⅱ	2	○	○	◎			◎	◎
	物性物理学Ⅲ	2	○	○	◎			◎	◎
	物性物理学Ⅳ	2	○	○	◎			◎	◎
	物性物理学Ⅴ	2	○	○	◎			◎	◎
	物性物理学Ⅵ	2	○	○	◎			◎	◎
	核物理学Ⅰ	2	○	○	◎			◎	◎
	核物理学Ⅱ	2	○	○	◎			◎	◎
	核物理学Ⅲ	2	○	○	◎			◎	◎
	核物理学Ⅳ	2	○	○	◎			◎	◎
	基礎物理学Ⅰ	2	○	○	◎			◎	◎
	基礎物理学Ⅱ	2	○	○	◎			◎	◎
	数理物理学Ⅰ	2	○	○	◎			◎	◎
	数理物理学Ⅱ	2	○	○	◎			◎	◎
	数理物理学Ⅲ	2	○	○	◎			◎	◎
	数理物理学Ⅳ	2	○	○	◎			◎	◎
	応用物理学Ⅰ	2	○	○	◎			◎	◎
	応用物理学Ⅱ	2	○	○	◎			◎	◎
	応用物理学Ⅲ	2	○	○	◎			◎	◎
応用物理学Ⅳ	2	○	○	◎			◎	◎	
応用物理学Ⅴ	2	○	○	◎			◎	◎	